

2026シーズン ルール改正案の検証を実施します

1/10.11 滝野チャンピオンズカップ 並びに1/24.25 北海道オープンにおいて、下記の事項についてルール改正案の検証を実施します

【1】 スタート時バックラインより全員前で整列・スタート時の「静止」

- ・スタート時全員バックラインより前に出て後ろ足(または両足)でラインを踏む
- ・「ヨーイ」のコールからスタートのホイッスルが鳴るまでは基本「静止する」
- ・FWの選手はスタート後速やかにラインから足を離す

※スタート時の確認の簡素化・フライング判定が容易となる・見た目も良い

【2】 フラッグの位置を2m 前へ移動

- ・フラッグの位置を2mセンターイン方向へ移動する(バックラインより4mの位置)

※フラッグ奪取時の2シェルの死角が少なることにより判定が容易となる

【3】 監督をポジションとして認定セット間の交代を可能とする

- ・セット間の監督の交代を認める(競技者名簿についても変更する)
- ・これによりリザーブ2名と監督併せて3名交代が可能

※より多くの選手に出場機会が増える・参加者からの要望・普及の一環として

【4】 ラインアウトの定義の変更→触れる、踏むはアウト

- ・現在ラインを足で踏んでいる場合はセーフとしているが、これをラインに体の一部が触れた時点ですべてアウトとする
- ・VT戦時のライン(ポール)についても同様とする

※現在足で踏んでいる場合はセーフであるが、これをすべての部位が触れた(踏んだ)
場合を対象とし簡素化する 【1】のスタート時は記載のとおり

【5】 相手コートへ侵入している人数の定義

- ・相手コート内でアウトになった選手がコート外に出た定義を、ラインアウトの基準ではなく体のすべてがラインの外へ完全に出た状態とし、その後追加の選手の相手コート内への侵入を可能とする

※相手コート内への4人目の侵入の判定が容易となる

【6】 フラッグ奪取時にアウト選手がフラッグを抜いてしまった場合の定義

- ・フラッグポールを戻すことが出来るのは抜いた選手のみとする
「表記として： アウトになった選手しか、フラッグを戻すことができない」
- ・フラッグポールがコート外へ出てしまった場合は、当該セット中は戻すことが出来ない
- ・フラッグポールを抜いた選手が戻さずにコート外に出てしまった場合、コート内に倒れているポールを次に選手が戻して抜いた場合はフラッグ奪取成功とする

※現在細則として記載されていない内容を明確化する

【7】 フラッグはポールの最上部に取り付ける

- ・フラッグの取り付け位置をポールの最上部とする
※フラッグの取り付け位置について明確化する。
※取り付けやすい仕様にする。

【8】 試合中のストップウォッチ以外の電子機器の使用禁止

- ・監督がストップウォッチ機能を使用してのスマホ等の使用は認める
 - ・試合中のリザーブ選手による撮影、選手のイヤホン等の使用は禁止とする
 - ・補聴器等の使用については可能とする
- ※安全上の理由・電子機器による作戦等の禁止

【9】 チームへ警告(イエローカード)を与える反則 7.2.3として追記

- ・アウトになった選手が、チームに有利になるようプレーを続けた場合
※表記内容は案として